

# <資料一 3>

## 平成 21 年度 佐渡市地域公共交通活性化・再生総合事業計画（案）

### ①支線・地区内路線の運行サービスの検証

<南部地区路線バスの新たな運行サービスの検証>

- ・事業費：16,500 千円
- ・目的：収支率が低い路線を対象とし、新しい運行サービスの方法を検討、検証する。
- ・対象路線：宿根木線、前浜線、度津線
- ・運行期間：平成 2 1 年 1 0 月～平成 2 2 年 3 月まで。（予定）

### ②観光客の二次交通の充実

- ・事業費：20,000 千円
- ・目的：島内路線バスの現行路線を維持しつつ、観光地をからめ、路線の延長や迂回で観光地対応型路線バスを運行する。
- ・運行期間：7 月 4 日（土）から 1 1 月 2 9 日（日）までの土日祝日。
- ・運行コース
  - ①南線（往復 14 便）  
両津～新穂～畑野～竹田橋～妙宣寺～国分寺～歴史伝説館～真野新町～佐和田
  - ②小木宿根木線（往復 8 便）  
佐和田～真野新町～歴史伝説館～西三川 G P～羽茂～小木～宿根木～沢崎
  - ③七浦海府線（往復 12 便）  
佐和田～二見～夫婦岩～相川～尖閣湾揚島
  - ④金山シャトル（往復 16 便）  
相川～相川博物館～佐渡版画村～佐渡金山
  - ⑤トキの森シャトル（往復 17 便）  
両津～椎崎温泉～潟上温泉～トキの森公園
- ・出発セレモニー  
日時：7 月 4 日（土）午前 8 時 1 5 分～8 時 3 0 分  
会場：両津埠頭観光バス発着場

### ③高齢者の外出支援と公共交通の利用促進

＜路線バス割引サービスの実施＞

- ・事業費：5,500 千円
  - ・目的：両津地区で実施している社会実験を全島に拡大し、高齢者の路線バスを利用した外出支援と外出機会の増加を図る。
  - ・対象者：佐渡市在住の75歳以上の人
  - ・内容：路線バスを1乗車200円で、月4回（乗車）利用できる。
  - ・利用方法
    - （1）対象者に「利用証」を配布済。新潟交通佐渡の営業所等で「バス割引券」を購入する。
    - （2）路線バスを利用し、降りる際に「利用証」を運転手に見せて「割引券」を料金箱に投入する。
- ※実施期間中、アンケートで調査、分析をし、来年度以降のサービス内容を検討する。

### ④路線バスの利便性向上とノーマイカーデー等の実施による利用促進

＜ノーマイカーデーの実施＞

- ・事業費：2,000 千円
- ・目的：路線バスやCO<sub>2</sub>を排出しない自転車など環境にやさしい交通手段を利用することにより、通勤手段の公共交通への自発的転換を促す。
- ・実施：（一回目）  
佐渡市職員による試行  
平成21年7月13日～17日までの1日以上

ダイヤと停留所は現行のままで実施。利用後、アンケートを提出してもらう。アンケートを集計、分析して満足度や問題点を把握し、二回目につなげる。

（二回目）  
島内企業従業員及び行政職員による本実施  
平成21年10月中（予定）

◇総事業費 44,000千円（国 22,000千円、市 22,000千円）

平成21年度佐渡市地域公共交通活性化協議会一般会計収入支出予算書（案）

収 入

(単位：円)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較	付 記
1. 負 担 金	22,000,000	736,000	21,264,000	佐渡市負担金
2. 補 助 金	22,000,000	0	22,000,000	国交費
3. 繰 越 金	348,188	0	348,188	
4. 諸 収 入	0	0	0	
収 入 合 計	44,348,188	736,000	43,612,188	

支 出

(単位：円)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較	付 記	
1. 運営費	会議費	303,188	654,000	-350,812	報酬、費用弁償など
	事務費	45,000	82,000	-37,000	協議会資料作成費など
2. 事業費	44,000,000	0	44,000,000		
3. 予備費	0	0	0		
支 出 合 計	44,348,188	736,000	43,612,188		

佐渡市地域公共交通活性化協議会  
会 長 高 野 宏 一 郎